

会 議 議 事 録 (抄)

会 議 名	2023 年度専門学校東京テクニカルカレッジ 第一回情報処理科教育課程編成委員会
開 催 日 時	2023 年 7 月 25 日(金)15 時 40 分～17 時 00 分
会 場	専門学校東京テクニカルカレッジ 地下 1 階 テラホール
参 加 者	<p><外部委員> 後藤 英明 (ドコモ・データコム株式会社) 経塚 真裕 (ソフトビューベリオン株式会社) 片山 善久 (株式会社エフ・エム) 坂上 誠 (株式会社テクノプロ テクノプロデザイン社) <オブザーバー> 山本 仁 (ソフトビューベリオン株式会社)</p> <p><内部委員> 井坂 昭司(専門学校東京テクニカルカレッジ 情報処理科科長)</p>
	<p><系別分科会>(第二部)</p> <p>1.議長挨拶 井坂より挨拶 2.前回(系別分科会)議事録の確認 3.意見交換 IT 業界の動向と教育強化項目、世の中の変化、 開発環境について、その他</p>
討 議 内 容	<p>1. 当校の状況について</p> <p>【井坂】 大学に無試験で入ってる。 保護者は大学志向が強い。 辞退が多く、辞退する学生はまあまあなレベル。 残る学生は低く、鬱や適応障害など、精神面での問題を持つ子が多い。 低学力者のフォローアップのため夏休み期間でトライを呼び一週間講習を実施した。</p> <p>懸念としては、来年から N 高をやっている角川さんが ZEN という通信制の大学を始める。 それは我々としては脅威と感じている。年間 40 万弱くらいで受講できるので、 社会人経験のある学生や浪人生などはそっちに流れてしまう可能性が高い。</p> <p>対策としては、高専連携の効果が少しずつ見えてきている。 優秀な留学生も増えてきている。</p> <p>【経塚委員】 高専連携は主に理系？</p> <p>【井坂】 理系が多い。工業高校や総合高校が中心。</p> <p>【経塚委員】 文系でもいいと思う。 IT なら文系でもやれる。</p> <p>【井坂】 工業系の方が建築や IT があるうちと親和性が高い。 普通科もターゲットに入れていきたいところだが、 なかなか普通科と専門学校は結びつかないのと、普通科の方が大学志向で嫌がる。 保護者も大学志向だったり価値感も変わってきている。</p> <p>【後藤委員】 退学はメンタル面での問題が多いのか？</p>

【井坂】

メンタル面の問題での退学が多い。
低学力での退学は1人いるかいないかくらい。

【片山委員】

労力をかけるところがもったいないと思う。
真ん中の層に労力をかけてあげてほしいとこちらとしては思う。

【井坂】

退学率などの数字が出てしまうと仕方がない部分がある。
Paizaなどを導入し、上位から下位までまんべんなくと思うが、
どうしても下位層に手がかかってしまう状態。

【経塚委員】

大学のレベルも下がっている。国の制度からそうなってしまう。
会社も社員を守ることが第一になってしまうので世界で負ける。

【井坂】

パワハラにならないようにしないといけない。
我々からすると大学の評価は下がってほしい。
今の大学生は簡単に大学に入ってるので、就職もとりあえずで入って簡単にやめる。
その部分でみるとうちの学生の方がマインド的には高い気がする。

【片山委員】

今年初めて大学と専門学校生が対等になった。学生のレベルが異常に下がってきている。
面接で授業の内容を聞いても答えられない大学生が多い

【後藤委員】

学生のレベルの低下はすごく感じる。
自分が受けている授業について答えられない。

2.IT 業過の動向と教育強化項目など

【井坂】

我々が今注目しているのは ChatGPT。
イベントなどに行っても ChatGPT の API を活用した商品が結構出てきている。
その辺の動向や、専門学校での取り入れ方などについてご意見を伺いたい。

【経塚委員】

まだ ChatGPT を活用した変革は起きていないが、設計を読みこませて作らせたものを
ただメンテナンスしてという風にはなると思う。
それが実践として評価されていないので、どこまで工数を減らせるかとかという話にはなっている。

【井坂】

それに対して専門学校として何か新しく教える必要があるのか。

【山本委員】

すぐに教えて何か武器になるかと思ったら今のところはならない。
あくまでも今はツールでしかないので、使い方や正しいあり方を教えるくらいで良いと思う。
ただ ChatGPT を使えて当たり前という風にはなると思う。

【経塚委員】

まだ成功事例が数値として結果が出ていないので、
それが出来たら会社でも教育に入れていくかと話している。

【片山委員】

私は、技術者がいらなくなるのではと思っている。
ユーザーが ChatGPT を使って自ら作るようになるのでは。
なので私たちはそれを踏まえた上での仕事のあり様を考えていく必要がある。

【坂上委員】
テクニカルカレッジで生成 AI を作ってみては？
学生を呼び込むという点でも。
作る側をやってきたという学生が来たら企業側はポジティブな印象になるのではないかと思う。

【井坂】
企業ではそういった案件は出てきているのか。

【坂上委員】
そこまではいってない。実用までやれているところはない。

【後藤委員】
うちもない。今後もしかしたら出てくるかもしれないが、現状はない。話題にもなってない。

【井坂】
世の中の流れとして IT の技術だけではなく、他の技術も技術者として必要になっているものはあるか。

【片山委員】
IoTとの連携は増えている。ニーズは高いが技術者が少ないので。

【経塚委員】
大学生との違いで一番あったのが、パワーポイント。
仕事ですごくパワーポイントを使う。提案資料とか。

【井坂】
パワーポイントは一応授業でやっていて、発表でも使わせてはいるが、
技術的なところはあまり身に付いてないと思う。それを発表で効果的に使えるところまでは
いってない。プレゼンに関しては、声の大きさなどそこからの指導が必要。

【坂上委員】
文系の学生の方が得意かも。プレゼンはある程度の訓練も必要。メンタル的な部分でも。
どうしても無理なら、アバターを作ってそれに話させるとか、うまく自分たちの技術を
表現の部分でも活かせると良い。

【山本委員】
毎日朝に1分間スピーチをやるのも良い。

【経塚委員】
ニュースも見ないから、それを話させるのは良いと思う。

【井坂】
学生の社会常識が昔と比べて低下してきているので、IT 用語辞典を持たせた。
その辺の社会常識の低下について企業はどうか。

【経塚委員】
コロナだったからというのもあったので、判断に困っていた。

【後藤委員】
うちはやはり見受けられる。

【片山委員】
不思議なのが、コロナ禍になり画面を見る機会が増え、検索するのが上手なはずなのに
知識がたまっていかないのはなぜだろうと思う。

【井坂】
自分の興味のあるものしか検索もしないし見ないので、興味のないものは目に入らなくなった。

【坂上委員】
オンラインでの授業が増え、聞いている風ができるから聞いてない。
学生に授業で何してきたかを聞いても答えられないのはそこではないかと思う。
オンラインでの弊害はそういうところにも出てきている。

【井坂】
無知なものをどういう風にもっていけば良いのか。やり方とか。

【経塚委員】
動機付けをちゃんとしないと難しい。

【片山委員】
アウトプットが必要な場面がないと難しい。

3. 世の中の変化について

【井坂】
オンライン系の会社はどうか。

【後藤委員】
うちは在宅だと合わない部分がある。
相手が何をやってるのかわからないなどの問題も出てきて対面が増えてきている。

【経塚委員】
オンラインは基本的に廃止にした。
去年の新人研修は5人辞めた。オンラインを廃止した今年はまだ辞めてない。
1年目2年目はテレワークダメだと言っている。
仕事のやり方もわかってないうちからテレワークで成果物を求めても良いものはあがってこない。

【片山委員】
うちは業種によって。金融、流通はほぼ出社。ソフトウェア開発はテレワークが多い。
新入社員のOJTは3か月間対面。

【坂上委員】
エフ・エムさんとほぼ一緒。製造業はすり合わせの文化があるので結構出社する。
最近のITベンチャーの在宅OKのところにとられたりするところが辛いところ。

【経塚委員】
うちは対面でできる人しかいれないことにした。
そうしたらレベルが上がった。ただ学校となると回答に困る。

【井坂】
今の子どもたちは在宅がいいと思っている子が多い。
来年再来年あたりには高校生の10分の1は通信制になる

【経塚委員】
DMMのプログラミングスクールはワンスクール100万で良い商売になってると聞く。
別業種からIT転職したいという人は藁をもつかむ思いでスクールに行くらしい。
でも学校を出れば専門卒ということになる。

【井坂】
角川がやるZENは37万。IT転職考える人にはいい。
ZENを出れば大卒になる。

【片山委員】
前回も話したが、テレワークが人間の能力を落とす。
雑音が入ってこないことによってどんどん人間の脳が退化していく。
雑音がない世界で仕事を続けていくとコミュニケーション能力が落ちてきてしまうという
ことをある学者が言っている。

【経塚委員】
テレワークが多い人はコミュニティも広がらない。

【坂上委員】
そういう今の話は大学ではやってないから、専門でやってあげると良いかも。

【井坂】
賃金がバラバラになってきているような気がする。

【片山委員】
マスコミが一部を取り上げるから差が出来ているように見える。
全体を見ると実際はそんなに出してない。

【井坂】
新入社員を取るのに上げると二年目の子も上げないといけなくなる。

【経塚委員】
だからうちも上げた。大卒と専門卒を同じにした。

【後藤委員】
うちも専門卒は上げた。大卒とはまだ一緒にはなっていない。

4. 開発環境について

【片山委員】
周りがクラウドといていたけど、最近案件がなくなってきている。
営業情報が飛び交っていない。何が正しい進み方なのかわからなくなってきている。

【山本委員】
クラウドという点からいうと、金融系は昔はオンプレだけだったのが最近では AWS とか
アジュールを使って近いところをやるというのが増えている印象。とはいえ、目新しいものはない。
開発環境という点で言えばどれか一つをちゃんとやっていたら応用がきく。

【後藤委員】
特に変わりはない

【坂上委員】
大きなムーブメントがきてるかというのと、そういうのはない。落ち着いたかなというぐらい。

【片山委員】
前はオンプレからクラウドというのがあり、今は仮想から仮想という風にはなったのはわかるが、
新しい技術が出たかといったらそうではない。

5. その他

【坂上委員】
校長のお話にあった分野横断はすごくいいと思う。
世の中に求められていること。〇〇だけというよりも、〇×〇というエンジニアが育っていく方が
ベターかと思う。企業側もすごく嬉しいのでは。

【井坂】
専門学校は専門士と高度専門士がある。高度専門士をとると大卒同等になる。
2+2 でやると高度専門士にならないので、高度専門士がとれるような工夫が必要。
4 年間の学科を作り、1つのカリキュラムを作れば可能。

【坂上委員】
大学にはないと思うので良いですね。

以 上